

博物館市民説明会 R7.6.29 芝川公民館（昼）

Q	市内にある収蔵物の保管状況について大変心配になった。博物館を作れば劣化が進まなくなるような感を受けた。今ある歴史的な資料を劣化させるというのはできるだけ避けてほしいと思う。博物館ができないと劣化を避けるということはできない訳ではないと思う。博物館ができれば収蔵環境がよくなり、それにはお金がかかる。それと同じことを今ある収蔵物にお金をかけるということをやらないと劣化が進むということになると思う。であれば、劣悪な状態にあるということについては、ぜひ改善を今すぐにでもやっていただきたい。
文化課長	埋蔵文化財センターは、別の施設から改修した点、それから老朽化している部分があるということ、あの建物の中で何かするというのが難しい状態。特に環境に気を付けなくてはいけない古文書などは芝川会館の会議室などに避難をしている状態。これ以上のことはそれなりの施設を、何かしら整えていかなければならない。それを老朽化している埋蔵文化財センターでできるのかというのはかなり難しい。浸水想定区域になっているところなので、埋蔵文化財センターでやるべきことなのかというところかなり難しい。今すぐに対応しなくてはならないなというところはあるが、博物館の中に特別な収蔵庫ができれば、そういったものはまずは保管できると期待している。
Q	まず施設を有料にするのか、無料にするのか。 規模感が分かりにくいので、近隣でこのくらいの建物があれば教えてもらいたい。 構想に否定的な方々もいると思うが、そういった人もし建った時に納得感が得られるには来場者が必要になる。その辺の呼び込みや、世界遺産センターとの協働といったような考えがあれば教えてほしい。
文化課長	まず施設は、2600㎡と想定していた。市内の施設で2600㎡の建物というと、芝川会館。旧芝川町の庁舎だった建物が3階建てで2761㎡。 有料かどうかについて、構想では入場料を取る予定で想定しているが、額や減免の対象などは検討するとしている。 連携については、先ほどネットワークというところでも話したが、本当にそういったところは必要で、博物館法の改正で、地域のいろいろなところとの連携、ほかの博物館との連携や、それ以外の観光など、いろいろなところの連携が必要とされている。具体的ところはこれから基本計画で色々挙げていく予定だが、これから計画していく。
Q	前半に説明があった、観光も盛り込まないといけないことに関して、勝手な提案だが、建物の外観がすごく大事だと思う。富士山をバックにして、建物の写真を撮りたいと思うような建物にしてほしい。滋賀県の長浜市は、郷土資料館といってお城を建てている。長浜城。名前は城でなく資料館だが、例えば富士宮もそんな風に城など立てて、桜と富士山をバックに写真を撮りに他県や外国から人が来てくれるようなことはどうか。富士吉田市では赤い塔と富士山と桜でオーバーツーリズムになるくらい人が来ている。そういう外観についてぜひ考えていただければと思う。
文化課長	外観については、基本設計の段階で大体出来上がってくる。今の話は基本計画の中でも参考になる。基本計画で場所は決めていく予定なので、検討する際の参考にし、基本設計の段階でも参考にしていきたい。

市長	外観もそれなりに考えていかなければならない。どこも箱物と言うと、四角い建物で済ませてしまうような外観があるが、そうではなく、富士宮らしく郷土史博物館にふさわしいものを基本設計の中で検討を、専門家を含めてやっていきたい。
Q	デジタル化や空き教室の利用が結構入っていて、うーんと思った。ちょっと視点変えて、埋蔵文化財センターを建設したのが2014年だと思うが、比較的まだ新しい建物である。今市が進めている長寿命化を全然やってこなかったのか。（※旧芝川町保健センター平成7年開館、埋蔵文化財センター平成26年開館）
市長	埋蔵文化財センターは当時保健センターとして芝川町が使っていたもの。合併して、何も使っていないものをなんとか使わなければといったとき、富士宮市の埋蔵文化財が市内のあちこちに点在していたので、その保存にちょうどいいだろうという考えでそこに集合させて収蔵した。ところが、その後、富士川の浸水区域となり、放置すると埋蔵文化財が流されてしまうという心配があるため、別のところに動かさなければいけなくなった。建物そのものは相当古い建物で、とても直して郷土史博物館にするようなわけにはいかない。そのため、芝川と富士宮市の歴史を一緒に合わせ持つ大きいものを作ろうという方向になった。消防署も隣接しているが、西山のほうに移転することとなる。
Q	長貫地区の中央消防署芝川分署が西山に移転することは、いざ災害があった時に出勤できないと困るので良いと思う。長貫地区の一般住宅の戸数はどのくらいか。 移転する前にその長貫地区の住民のケアは進んでいるか？
係長	おそらく100戸くらいだと思います。（訂正 約40戸）。踏切の下段のほうが浸水想定区域になる。
市長	長貫の部落については、踏切から上の分は富士川が氾濫してもそれほど被害がなく、土地が高くなっており堤防もあるため、それに対する手当はしていない。そのあたりの心配はないという風に考えていただければよい。 富士川が増水した場合に今心配しているのは、消防と埋蔵文化財センターである。一番芝川地区で危ないのは、富士川があって落合がある、川の流れが二本、稲瀬川と境川と富士川の合流点が重なるとあふれてしまう、あの辺りは指定地域になっている。
Q	身延線から南側は想定区域外となるが、住居はないか。行政は市民の命と、市民の財産を守ることが一番だと思う。作る云々でなく、その前のケアはどうするのかということを聞きたい。
市長	境川と稲瀬川と富士川が合流するこちら側に広い田んぼがある。大変申し訳ないが、あそこは水の調整池になる。あそこへ家を建てることは、中々難しい。あそこをどういう風に活用しようかと言ったら、市民の生命と財産を守るには、あそこへ余分なものをもってきて後またケアしなければならないことはしたくない。 今、何かするという事について、市は手当しないでいる。
文化課長	防災マップをお知らせして、ここだけではなくて、市でそういうところがあるので、日ごろから注意をお願いしている。
市長	稲子川も平成23年に氾濫した。まさかあんなにまで崩れて土砂災害があるとは思わなかった。芝川はもう随所に危険な所があるので、土砂崩れを防ぐ対策をあちこちやっている。
Q	郷土史博物館は建てるのか建てないのか、もう決定しているのか？ 議会は十対十で議長決裁になったが、そこには市民の意見が入っていないのではないか。

市長	郷土史博物館は作る方向で進めている。 基本計画が議会の承認をいただいたので、議会で決められたことを尊重しなければならない。 市民の意見を聞いてくれる議員を選ぶことが市民の意見を通すことであり、そのために議会制民主主義があり、議員一人一人の一票には重たい意味がある。
Q	市長の前で悪いが、私の周りでは、この博物館の建設にはほとんど反対である。 これからもし署名をして、今以上に票が沢山集まったとしても、それは民主主義だからといって、私たちがどんなに反対しても通らないのか。博物館はその何十億というお金を使って建てるほどのものなのか。
市長	反対の人もいるが、賛成の人もたくさんいる。この間の署名は四千八百何某かあったが、十二万三千の市民のうちの四千八百である。 市としてはこれからの街の発展のため、豊かな文化教養を高めるため、あるいは産業振興のために必要だと考えている。
Q	私は、この日本の象徴富士山のふもとで、250もの遺跡があつて、しかも縄文草創期の大鹿窪もあるが、もっと沢山出ると思う。こんな素晴らしいところで、郷土資料館がないっていうのは恥ずかしいところではない。だから、基本構想を見て驚いたが、デジタルなど、世界遺産センターと変わらない、中身がない。ただの箱物になってしまう。 もっと直に触れるようなものを置いたり、学芸員が少し工夫したり、もっと見て回って、ちゃんとしたもの作ってもらいたい。そして資料も、さっきの説明では、土器なんかはどこかから借りている学校の空き教室に置けばいいなんてとんでもない話で、資料は一か所に集めて、いいものを作ってほしい。ただの箱物にしないで、中身がある、ちゃんとした教育の場にしてもらいたい。お金もかけてもらいたい。お金がだめなら県からも国からも、一般から全国から考えて、しっかりしたものを作ってもらいたい。議会の議員全体の意見を集約して、まとめていいものを作ってほしい。
市長	最初は委員会で委員長が否決、その次は本会議で議長が否決。それに対して当局の私たちが決定事項に対してそうではない、これはおかしいということとはできない。それが民主主義。ただ、いろいろな財政的なことで心配なこともあると思うが、財政は非常に豊かで全く潤沢に進んでいる。これを作るのに27億、30億かかるか実施設計をしてみないとわからないが。令和6年度、ふるさと納税が約69億、そのうちの半分が市へ入る。今年もすでに、11パーセント増でふるさと納税が入るような状況。財政的には何ら心配いらぬ。しっかりと作れる。これから基本計画の中でどういうことをするか決めて、それを市民の皆さんや議会に諮り、次へ進めるか、ここを直すというようなところである。
市長	強権的にものを進めるのではなく、粛々と議会で決められたものを前へ進めるだけ。
文化課長	今文化課のほうで基本計画に取り組んでいる。今議会だよりを持っていたと思うが、この予算を通してくれた議員も、基本計画見てみないと分からないというような意見があった。先ほど、観光などいろいろなところと連携という話もあったが、そういった所も含めて、これだったら建ててもいいのではないかとこの基本計画になるように今取り組んでいる。もっと皆さんに見せていかなければならないという話もいただいたので、もしそういったものを反映できるようなご意見をいただければ、基本計画のほうに反映を検討していく。
Q	場所の説明を何にもしていない。資料を分散すると言うからさっき言った。ちゃんとしたもの作ってほしい。資料を分散させるわけにはいかない。学芸員も困る。

市長	早くまとめ上げ、後世に渡さなければいけないと思っている。場所の問題について、基本構想の中で四つあげてあったと思うが、また新しくプラスしないといけないところが出てきた。というのは富士宮駅前のきららの駐車場があるが、あそこの半分くらい使ってはという構想がある。 きららの駐車場は、だいたい混んでいても30パーセントくらいしか使っていないので、公共用地として街中の一番有効的な価値のあるところを案内して、というところ考えた。幸い駅前通りからきららに入るところが、地主の協力で、大型バスが入れるようになるという話が出てきた。まちの活性化のためにも、一案として検討すべきことということで浮上してきた。かなり有力な場所になると思っている。色々これから、紆余曲折があると思うんですが、市としてはできるだけベターなところを選び、まちの活性化のためにも活かしていきたい。
----	--